

【トレーニングの量を増やすことで “文に変換する力”と“文の作成力”を鍛える】

1. 記述式試験の特徴

記述式試験の特徴とは「書いたものが評価される試験」ということです。択一式試験は選んだものが評価される試験です。これに対して、記述式試験は「書いたものが評価される試験」です。択一式試験と記述式試験の違いは評価方法が異なるということです。

書いたものが評価される試験の対策として「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中で様々な対策を解説しました。例えば、「日常業務の中で“文に変換する力”を鍛える^{注1)}」や「日常業務の中で“文の作成力”を鍛える^{注2)}」などです。

また、これらに関連して、「ノートを使った受験勉強方法で“文に変換する力”を鍛える^{注3)}」や「ノートを使った受験勉強方法で“文の作成力”を鍛える^{注4)}」についても解説しました。

注 1) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「日常業務の中で“文に変換する力”を鍛える」の資料を参照のこと

注 2) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「日常業務の中で“文の作成力”を鍛える」の資料を参照のこと

注 3) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「ノートを使った受験勉強方法で“文に変換する力”を鍛える」の資料を参照のこと

注 4) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「ノートを使った受験勉強方法で“文の作成力”を鍛える」の資料を参照のこと

2. トレーニングの量を増やすことで文に変換する力と文の作成力を鍛える

文に変換する力や文の作成力を鍛えておくと所定の時間内で解答を書くことができます。これらの力を鍛えておかないと文に変換することや文の作成に時間がかかり所定の時間内で解答が書けないことがあるかもしれません。

ノートを使った受験勉強をすれば文に変換する力と文の作成力を鍛えることができます。ノートを使って勉強することは、文に変換することや文を作成することがこの受験勉強方法の基本になっているからです。

ポイントは、日常業務の中で文に変換する力や文の作成力を鍛えることです。「日常業務の中で書く前に書き出してみることは面倒」あるいは「日常業務の中で『6つのルールと18の書き方』を使って文を書くことは面倒」と思うかもしれません。しかし、すべては記述式試験に合格するためです。

ノートを使った受験勉強方法の中だけではなく日常業務の中でも文に変換する力や文の作成力を鍛えるためトレーニングをすること、すなわち、このトレーニングの量を増やすことで文に変換する力と文の作成力を鍛えることができます。

今回解説したことだけではなく、「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」での他の資料の中で解説したことを実践することでも文に変換する力や文の作成力を鍛えることができます。

以 上